

幼稚園教諭一種免許課程に係る教科目

【教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目					
科目	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	奇	2	○	
体育	2	体育実技A	S		1	△	体育実技Aまたは体育実技Bいずれか一方を含む2単位以上
		体育実技B	S		1	△	
		レクリエーション論	S		2	△	
		健康科学論	T	奇	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語I	T	奇	2	△	
		英語II	T	奇	2	△	
		英語コミュニケーションI	S		2	△	
		英語コミュニケーションII	S		2	△	
		リスニング	M		2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎I(機器操作を含む)	M		2	○	

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考
第2欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	T	奇	2	○	3科目6単位以上	
			人間関係	T	偶	2	○		
			環境	T	偶	2	○		
			言葉	T	奇	2	○		
			表現	T	偶	2	○		
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	16	保育内容総論(保育指導法)	T	奇	2	○	3科目6単位以上	
			健康指導法	TS		2	○		
			人間関係指導法	TS		2	○		
			環境指導法	TS		2	○		
			言葉指導法	TS		2	○		
			音楽表現指導法	TS		2	○		
			造形表現指導法	TS		2	○		

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	開講タイム	単位数	カリキュラム本学	実習要件	備考
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育学概論	T	偶	2	○	○	
			教職論	T	偶	2	○	○	
			比較教育制度論	T	偶	2	○		要2科目履修
			学校安全	T	奇	2	○		
			教育心理学	T	奇	2	○	○	要3科目履修
			発達心理学	T	奇	2	○		
乳幼児心理学	T	偶	2	○					
			特別支援教育	T	偶	2	○		
			子ども教育課程論	T	偶	2	○	○	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	4	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	T	偶	2	○		教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)
			幼児理解の理論及び方法						幼児理解と保育相談
第5欄	教育実践に関する科目	7	教育実習	S		1	○	事前のみ	
			教育実習I(幼)	S		2	○		
			教育実習II(幼)	S		2	○		
			教職実践演習(幼・小)	S		2	○		
第6欄	大学が独自に設定する科目	14	心理学概論(こころの形成)	T	偶	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論(こころの理解)	T	奇	2	△		
			子ども臨床心理学	T	奇	2	△		
			子どもの心理学(総論)	T	偶	2	△		
			道徳教育	T	偶	2	△		
			子ども家庭福祉	T	奇	2	△		

※授業方法「T:テキスト科目/S:スクーリング科目(対面授業)/M:スクーリング科目(メディア授業)/TS:テキストスクーリング科目」を示します。

※スクーリング科目/テキストスクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目/テキストスクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

【実習要件について】

教育実習I・IIを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(4科目)及び「領域に関する専門的事項」から3科目6単位以上、「保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」から3科目6単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。